

業界のタイムリーな情報をお手元に

ビルメン
FUKUOKA

<http://www.fukuoka-bma.jp>

2023
11
Issue ● 359



『宇宙のゴミ』

内野 琴音さん(荘島小学校4年)の作品

編集・発行/公益社団法人 福岡県ビルメンテナンス協会

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目15番12号 TEL. (092) 481-0431 FAX. (092) 481-0432

特集

2023 (第29回) 「都市ビル環境の日」

シンポジウム/クリーンアップ福岡/子ども絵画コンクール



令和5年度 労働安全衛生大会開催



▲開会にあたって挨拶をする
倉重会長

令和5年度の労働安全衛生大会が10月11日(水)、福岡県自治会館において会員企業68社(106名)、その他3社(4名)、総数71社(110名)が参加して4年ぶりに対面形式で開催されました。

渡辺副会長の開会宣言、倉重会長挨拶の後、福岡労働局長祝辞を福岡労働局労働基準部安全課の石橋啓弘課長が代読され、引き続き同課

の岩坪健吉産業安全専門官より『労働災害防止について』と題して第14次労働災害防止計画やビルメンテナンス業における災害事例・労働災害防止対策、SAFEコンソーシアムアワード2023年度について説明をしていただきました。

また、博多警察署の高尾佳嗣警部補より『交通事故の現状と自転車の安全利用について』と題する基調講演も行われ、県内の交通事故発生件数、自転車の交通ルール、今年博多警察署管内で起きた自転車による交通死亡事故の事例に基づいて気をつけるべき注意点、最後には飲酒運転についてもお話しをいただきました。

令和5年度安全標語では玄海興業(株)吉武広寅さんの作品『かもしれない 予測で摘み取る 危険の芽』が最優秀賞に選ばれ、その他の入選者にも倉重会長から賞状と記念品が手渡されました。また、令和4年度無災害事業所表彰も行われ、無災害報告を毎月遅滞なく提出された会員事業所へ表彰状が授与されました。

最後は楠田委員による安全宣言を参加者全員で復唱。労働災害撲滅に向け決意を新たにし、江里口労働福祉委員長の閉会の辞により多くの方が参加した労働安全衛生大会は無事幕を閉じました。



▲福岡労働局労働基準部安全課の
岩坪健吉産業安全専門官



▲基調講演を行う
博多警察署の高尾佳嗣警部補



▲令和5年度安全標語で受賞された方々



▲令和4年度無災害事業所表彰を受けられた方々

構え！ビルメン防水隊(5)

地域防災ネットワーク部会長 金子 誠

クリーンアップ福岡(久留米地区) = ビルメン防水隊の参加

10月4日『都市ビル環境の日』クリーンアップ福岡の久留米地区会員は、久留米市庁舎と商工会議所ビルの上に立地する両替町公園に集合し、一糸乱れぬ清掃作業を貫徹しました。同地区主管企業は「地域防災ネットワーク部会」筑後地区のリーダー会員でもあります。[写真①]

今夏7月上旬に当地を襲った大雨災害は、地域インフラに甚大な被害を及ぼし、久留米市行政は“官民”協力の復旧作業に総力戦で臨んでいるところです[写真②]。

クリーンアップ活動地の久留米市庁舎は防災体制の拠点であり、半径“ラストワンマイル”(=交通手段が途絶した時、歩いて、泳いで救援に行ける距離)地域内は筑後川が北側から南へと囲むように蛇行し、さらに水運のための堀・クリークが網の目状に広がっているため、洪水時には広域水没に瀕してきました[写真③]。

このようにビルメンテナンスが地域の“防災活動”に主体的に参画していくことは、地元ビルメンテナンスが地域社会に認知・評価される一歩と考えます。

《当地の激甚災害指定状況と筑後川流域治水事業の歴史》

■令和に入っての福岡県(筑後地区)政令指定「激甚災害」発生

※100年に一度の想定！

令和2年7月=梅雨前線7月豪雨※線状降水帯発生地域の認識

〃 3年8月=台風9号～10号来襲豪雨

〃 4年9月=台風14号～15号来襲豪雨

〃 5年5月～7月=梅雨前線異常・台風2号暴風雨※台風発生気象の異変

■筑後川治水改修事業百年の轍

暴れ川“筑紫次郎”の治水改修事業が起工(大正12年)して、本年度で100周年になります。その工事の歴史は、営々と続く洪水との闘いでありました。先人の尽力の結果、その治水能力は大きく前進したものの、昨今の地球温暖化による気候変動の先端化はその能力を凌駕する脅威に至っています。いま地場ビルメンテナンスは、この水害減災に自分の出来得る取り組みを始めました。



[写真①] 活動風景：市庁舎の西側通りは道路冠水ハザード指定区域



[写真②] 市庁舎内掲示の流域治水活動スローガン



[写真③] 堀・川に囲まれた当地域図の案内板



令和5年度 福岡市市民総合防災訓練(博多区会場)へ防災部会参加

日時：11月26日(日)10時～ 会場：吉塚小学校グラウンド・体育館

当日は、はしご消防車による体験参加型救助訓練から自衛隊の炊き出し救援に至るまで、各関係団体による防災啓発活動を展開します。ビルメンテナンス防災部会ではブースを設営して“防災減災機材”展示や避難誘導の方法、警察署への緊急連絡の現地訓練などを行い、地域防災活動の啓発に努めます。

2023（第29回）都市ビル環境の日＜行事報告＞

都市ビル環境の日部会長 吉次 正利

■シンポジウム

▶第16回「子ども絵画コンクール」表彰式

▶基調講演

テーマ「もう待ったなし！変えよう清掃・管理の求人方法」



▲挨拶する倉重会長

10月4日(水)、第29回「都市ビル環境の日」には多くの当協会会員の皆様、賛助会員の皆様、関係団体の皆様、そして一般の方々のご参加とご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

今年は建物の維持管理に携わっているビルメン業界の深刻な課題である人材不足に焦点を当て、テーマを「NEXT50！どうする人材不足」と定めて、4年ぶりにシンポジウムも開催いたしました。

また、恒例の「クリーンアップ福岡」は晴天に恵まれ、福岡県内各地区で合計431名の方々が参加し、揃いの帽子とベストを着用して業界の地位向上と広報のために周辺作業を行いました。

Concours

第16回

「子ども絵画コンクール」

シンポジウムは午後2時より、福岡市天神にあるアクロス福岡の大会議室で開催致しました。先ず倉重会長の挨拶で幕を開け、続いて「第16回子ども絵画コンクール表彰式」が行われました。今年は49校から応募総数520点の作品が集まり、その中から選ばれた最優秀賞3人の内2人に会場に来ていただき、大勢の皆さんの前で倉重会長から賞状と副賞が授与されました。



▲賞状を授与する倉重会長



▲会場風景



▲子ども絵画コンクールの表彰式



▲基調講演を行う松田 剛次氏

Lecture

基調講演

基調講演は「もう待たなし!変えよう清掃・管理の求人方法」と題して、人材確保関連セミナーや人材採用コンサルティングなどで定評がある株式会社就面の松田剛次様をお迎えし、大変貴重なお話を賜りました。

講演は一方的な受講ではなく、「①ノウハウを聴く⇒②自ら考えて書く⇒③近くの人と話し合う」を繰り返す参加型の形式により、企業の方が悩む人材不足を解消すべくノウハウを学びました。

これからも「都市ビル環境の日」を通して、公益社団法人としてビルメンテナンス業の社会的役割を対外に向けて発信してまいりたいと考えます。今後とも皆様方の多大なご協力と結束をお願い申し上げます。



▲人材不足解消のためのノウハウを学ぶ



▲閉会の挨拶をする藤副会長

クリーンアップ福岡 各地区活動報告



福岡

福岡 地区 活動報告

(株)ダイワ
森重 利之

毎年恒例の「クリーンアップ福岡」を10月4日(水)、さわやかな秋晴れのもと福岡・北九州・太宰府・行橋・飯塚・久留米・大牟田・大川・朝倉地区にて行いました。



福岡

今回で29回目になりました。福岡地区では正会員186名、賛助会員52名、その他の参加者33名の総勢271名によって川端中央商店街・上川端商店街及び博多川両岸の遊歩道の清掃活動を行いました。当日は上川端商店街振興組合の正木理事長のご挨拶を賜り、その後倉重会長の「頑張ろう!」の声のもと、各班の清掃担当エリアへと笑顔とともに出発しました。今回は川端通り商店街周辺の一般企業にも、「クリーンアップ福岡」への参加の呼びかけをポスティングチラシにて行いました。その結果、嬉しいことに4社から33名のご参加をいただきました!

また、今回は初めて、商店街アーケード内に並ぶたくさんの柱を拭き上げました。この作業には技能実習生達も協力してくれました。新型コロナウイルスも落ち着き、インバウンドの影響なのか、床にガムが多く付着しており、皆さん無心に除去作業に取り組みました。今回の「クリーンアップ福岡」の活動は西日本新聞の朝刊(10/12付福岡都市圏版)にも記事として取り上げていただきました。

正会員・賛助会員他ご参加いただいた皆様、ありがとうございます。また、「クリーンアップ福岡」のポスティングチラシを見てご参加いただいた企業様には、この場をお借りして深く感謝申し上げます。来年は記念すべき30回目を迎えます。さらに盛り上げていきましょう!



福岡



太宰府

西日本新聞10/12付朝刊より転載



路面にこびりついていたガムを削り落とす参加者

商店街や公園をきれいに
県ビルメン協会 10カ所で清掃奉仕
博多区の川端商店街(延長約400m)と博多川沿いの遊歩道では、清掃のボランティア(約40人)と博多川沿いの遊歩道の関係者(約270人)が路面にこびりついたガムを金属ペラでこそ取ったり、洗浄機で路面の汚れを落としたりした。同協会は10月4日を都市ドール環境の日と定め、清掃活動「クリーンアップ福岡」を毎年実施。福岡市

建物の清掃社(タカノ)の公益社(法人)・県ビルメン協会の(倉庫)・男性長(1)が4日、県内の商店街(公園)を10カ所で清掃奉仕活動を行った。同協会は10月4日を都市ドール環境の日と定め、清掃活動「クリーンアップ福岡」を毎年実施。福岡市

「会長は「建物だけでなく街もきれいにするお手伝いができた」と話した。

■日時 2023（令和5）年10月4日（水）9：30～11：00

■会場 福岡県内主要都市中心部及び会員受託物件の周辺

■行事 公共施設の清掃及びゴミ収集

Report
Clean-up FUKUOKA



北九州

北九州 地区 活動報告

クリエ(株)
山川 博文

10月4日（水）、例年になく暑さもだいぶ和らぎ、朝晩は涼しく感じられるようになってきました。そのような気候のもと、会員企業23社62名の方々に参加をいただき、北九州地区においてもクリーンアップを実施いたしました。

当日は参議院議員の大家敏志様を迎え、ご挨拶をいただきました。その後、渡辺副会長、環境局の柴田局長、元市議会議員長の戸町武弘様をはじめ、日野雄二様、西田一様、田中元様の北九州市議会議員の皆様にもご挨拶をいただき、感謝のお言葉をいただきました。

今回もクリーンアップの実施場所は北九州市庁舎横の紫川にかかる鷗外橋、太陽の橋、勝山橋の3つの橋とその周辺のごみ拾いとガム取りを行いました。例年記事に書いているのですが、回数を追うごとにゴミもガムも少なくなり、人々の環境への考え方が変わってきたのを実感しました。

また、今回は議員の方々や秘書の方も活動に参加していただき、にぎやかにまた、楽しく活動が行えたと思っています。これから年末にかけて人々の往来も激しくなってくる時期となりますが、少しでも街をきれいにする活動ができたと思っています。

お忙しい中、参加して下さった皆様、ありがとうございました。



北九州



北九州



行橋

筑豊 地区 活動報告

(株)三信ビル管理
出口 秀成

2023年都市ビル環境の日、今年のテーマにもなっている「NEXT50! どうする人材不足」を考えさせられるかのように、参加者の減少を感じました。それでも各社、人のやりくりが大変な時に、筑豊地区「飯塚4社13名・桂川地区1社4名」の方々にご参加・ご協力いただき、クリーンアップ福岡を行うことができました。

朝は、今年の猛暑から一転、肌寒さを感じたが、クリーンアップ中は汗ばむ陽気となりました。桂川地区は、会社周辺から西鉄桂川町役場バス停まで枯葉、たばこの吸い殻、空き缶拾いなどの清掃、飯塚地区は昨年に引き続き、街の繁華街・歓楽街を縦断する飯塚市緑道公園全域（約660m）から飯塚バスセンターまで、空き缶、空き瓶と粗ゴミ拾いを行いました。緑道公園においては歓楽街と隣接することもあってか、今年も残念ながら、まだまだ煙草の吸い殻、空き缶が多く見受けられました。ただ、バスセンター付近では殆ど何も見受けられませんでした。バスセンターという人が多く集まる場所でのゴミの減少は、市民の皆様のマナーと意識改善が見受けられると感じたクリーンアップでした。

今回も、皆様には大変お忙し中、ご参加いただき、ありがとうございました。お疲れ様でした。



桂川



飯塚

筑後 地区 活動報告

新生ビルメンテナンス(株)
園田 繁博

2023年都市ビル環境の日『クリーンアップ福岡』の筑後地区は、例年どおり4地区で清掃活動を実施しました。

久留米地区は15社27名が久留米市役所前の両替町公園、大牟田地区は5社10名が諏訪公園の清掃、朝倉地区は1社13名が甘木駅構内外の清掃、大川地区は1社3名が大川市文化センター前の清掃を実施。多忙な毎日にもかかわらず、多くの方にご協力いただき、事故なく活動を行うことができました。

当日は空気が澄み、透き通った青空が広がる秋特有の晴天に恵まれ、気持ち良く活動ができました。クリーンアップ活動も第29回を迎え、翌30周年に向け住みよい街づくりに貢献すると共に、ビルメンテナンス業界への信頼が深まることを願います。ご協力いただいた皆様、感謝申し上げます。



久留米



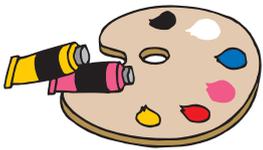
大牟田



大川



朝倉



第16回 子ども絵画コンクール

作品テーマ 未来のおそうじ～安心して住み続けられる私たちの環境～

今年で16回目となる「子ども絵画コンクール」を福岡県内の小学校を対象に募集したところ、49校から520点の作品が集まりました。長く続いた新型コロナウイルス感染症の流行もやや落ち着きを見せ、ようやく子どもたちも以前の日常を取り戻しつつあります。また、感染症が契機となり、子どもたちは衛生や環境問題に関心を持ち、それを題材とした夢あふれる作品が多く寄せられました。

そうした作品の中から、私立リンデンホールスクール小学部3年の田尻惣大さん、福岡市立有田小学校5年の吉住奏佑さん、志免町立志免中央小学校6年の石丸幸明さんの3作品を最優秀賞に選定した他、優秀賞10作品、佳作20作品を選定しました。最優秀賞の田尻さんと石丸さんの2名は10月4日に開催したシンポジウムの会場に来ていただき、倉重会長から賞状と副賞が授与されました。また、会場に来れなかった吉住さんには吉次理事（都市ビル環境の日部会長）が学校を訪問し、直接本人に賞状と副賞が授与されました。

なお、入賞した33点の作品は、例年通り県内の3会場作品展示を行い、多くの方に子どもたちの素晴らしい作品を見ていただくことができました。

入賞作品展示会場

最優秀賞 3作品
優秀賞 10作品
佳作 20作品
計 33作品

福岡会場 福岡市総合図書館1階



北九州会場 北九州市水環境館



久留米会場 久留米市一番街多目的ギャラリー



2023年度 受賞作品



最優秀賞 「真夜中お掃除ロボットが飛ぶ!!」 吉住奏佑さん（有田小学校5年）



最優秀賞 「力を合わせて」 田尻惣大さん（リンデンホールスクール小学部3年）



最優秀賞
「レインボー」
石丸幸明さん（志免中央小学校6年）



Report

青年部 全国大会 in 愛媛

青年部部长 永石昇将<(株)暁美装>



2023年10月12日(木)、愛媛県松山市の二番町ホール及びANAクラウンプラザホテル松山にて、「青年部全国大会 in 愛媛」が開催されました。

全国の青年部員約150名、懇親会はOBや来賓の方々も合わせると200名を超える参加がありました。

部会長会議の開催



部会長会議では、各道府県青年部で取り組んでいる活動を報告し、情報交換をいたしました。

地域の小学校との交流・清掃指導、ハラスメント研修、外国人留学生に関する勉強会、災害時物資の備蓄準備等々、様々な取り組みを知ることができ、大変参考になりました。中でも富山青年部会では、支援学校との交流を通じ

て、その後約30名の障がい者雇用につながったとのことで、ビジネスに直接的な成果をもたらした事例として大変感銘を受けました。

また、来年は新潟県にて開催されることが改めて確認されました(R7年以降は山口県、富山県、島根県の予定)。

講演会(セミナー)の開催



というお話を、非常に興味深く伺うことができました。セミナーという形で、出席者も隣同士でコミュニケーションを取りながら参加したのですが、皆積極的に取り組まれ、大変活気あるセミナーとなりました。

(一財)日本ペップトーク普及協会認定講師の玉野聖子氏による講演「組織活性化のコミュニケーション」が開催されました。

組織内でのコミュニケーションにおいて、ポジティブな発想の転換をして組織活性化を図るというセミナーでしたが、無意識のうちにネガティブな思考に陥っていたり、ネガティブな声掛けをしたりしている自分に気づかされました。言葉の掛け方、選び方ひとつでポジティブな集団に生まれ変わり、組織を活性化させ、生産性を向上させることができる

大会式典の開催



大会式典においては、愛媛青年部会長の武智慧氏より、愛媛において大会が開催できる喜びと、人材交流を通じて青年部及び業界全体の活性化につなげたいとお話をいただきました。式典には愛媛県知事の中村時広氏も出席され、コロナ禍及びアフターコロナの時代における当業界の重要性と、我々の活動への謝意と、大会へのご祝辞をいただきました。

懇親会の開催



懇親会はOBの方々も参加され、大盛会となりました。福岡からも倉重会長らOB3名と、青年部員4名が参加しました。愛媛の青年部会の皆さまからの歓待は温かく、食事だけでなく、楽団の演奏、早食い大会と楽しませていただきました。

懇親会の後も、北海道や栃木、神奈川、兵庫の各青年部の方と同席させていただき、いろいろと意見交換、情報交換もさせていただきました。非常に充実した全国大会となりました。



祝 中央労働災害防止協会 緑十字賞表彰

株式会社 川原グループ 代表取締役 川原 淳



(公社)福岡県ビルメンテナンス協会の推薦により令和5年9月27日(水)、名古屋市の「ポートメッセなごや」において、川原淳氏が令和5年度中央労働災害防止協会緑十字賞表彰の栄に浴されました。

永年に亘って労働安全衛生の推進に尽力されたご功績が特に顕著であったと認められたものであり、心からお喜び申し上げます。

11月 行事予定

8	水	～10(金) 令和5年度懇親旅行
17	金	13:00～ 令和5年度高所作業安全教育講習会 於：福岡県自治会館
20	月	空調給排水管理従事者研修指導者講習会 (新規・再講習) 於：福岡県自治会館
24	金	13:30～ 第157回理事会 於：県協会会議室
26	日	2023年度ビルクリーニング技能検定 <学科・実技ペーパーテスト> 於：福岡国際会議場
28	火	清掃作業従事者研修指導者講習会 (新規・再講習) 於：福岡国際会議場

毎月10日は「災害発生報告書」提出締切日です。
毎週金曜日は知事登録業務相談窓口開設日です。
(申し込みは、該当週の水曜日まで)

お忘れなく

環境管理部会より

「第14回実態調査」へのご回答のお願い

会員の皆様方の実情や業界の課題を把握する為、**11月1日(水)から11月30日(木)迄**の期間で「第14回実態調査」を実施いたします。

会員の皆様方のニーズを把握し、有益な事業運営をする為にも重要なデータとなりますので、ご多忙の折に恐縮ですが実態調査へのご協力をお願いいたします。なお、**今回から調査票(紙)での回答とWEBでの回答を併用**いたします。

青年部新入会員紹介



株式会社 ツインズ

代表取締役 藤川 博斗

■所在地
福岡市博多区諸岡3-33-50-207
TEL 080-3967-5708
FAX 092-515-2092
入会年月 令和5年10月

<令和5年度8月分>労働災害発生状況

※()内は前年同月の状況

Report

労働福祉委員会調査



■事故の型別

区分	墜落 転落	転倒	激突	飛来 落下	倒壊	激突され	挟まれ 巻き込まれ	合計
人	4(2)	6(7)	2(1)	(1)			2(1)	
区分	切れ こすれ	有害物質	感電	交通事故	動作の 反動等	針刺し	その他	合計
人	1(3)			1(4)	2(3)	(3)	5(6)	23(31)

■年齢階級別死傷者数

区分	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	合計
人		3(3)	(2)	3(3)	4(7)	5(5)	8(11)	23(31)

■休業日数

区分	休業なし	3日以内	4日以上	15日以上	31日以上	91日以上	死亡	合計
人	10(14)	1(4)	4(3)	2(2)	5(7)	1(1)		23(31)